

# S I D R

## (滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

## 〈月報〉 平成18年6月 (第22～26週)

発行年月日：平成18年(2006年) 7月 7日  
 発行 行：滋賀県衛生科学センター内  
 滋賀県感染症情報センター  
 電話 077-537-3050 FAX 077-537-5548

### 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 18年		平成 17年		感染症 類型	疾 病 名	平成 18年		平成 17年	
		1～6月		1～12月				1～6月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	四類	デング熱	0	20	1	73
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0		ニパウイルス感染症	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	10	0	62
	痘そう	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	7
	ペスト	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0		ブルセラ症	0	2	0	2
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	
	コレラ	0	24	0	54	ボツリヌス症	0	1	0	3	
	細菌性赤痢	*1	208	*2	556	マラリア	0	26	0	66	
	ジフテリア	0	0	0	0	野兔病	0	0	0	0	
	腸チフス	0	43	0	50	ライム病	0	2	0	8	
	パラチフス	0	14	0	18	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	
	腸管出血性大腸菌感染症	13	864	12	3567	レジオネラ症	5	193	3	276	
四類	E型肝炎	0	35	0	40	レプトスピラ症	0	0	0	15	
	ウエストナイル熱	0	0	0	1	五類	アメーバ赤痢	5	335	5	680
	A型肝炎	1	213	1	168		ウイルス性肝炎	0	120	2	277
	エキノコックス症	0	12	0	18		急性脳炎	1	91	2	180
	黄熱	0	0	0	0		クリプトスポリジウム症	0	7	0	9
	オウム病	0	15	1	34		クロイツフェルト・ヤコブ病	0	80	2	147
	回帰熱	0	0	0	0		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	68	0	60
	Q熱	0	1	0	8		後天性免疫不全症候群	7	604	7	1161
	狂犬病	0	0	0	0		ジアルジア症	1	43	0	81
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0		髄膜炎菌性髄膜炎	0	9	0	10
	コクシジオイデス症	0	1	0	5		先天性風疹症候群	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0		梅毒	3	302	0	555
	腎症候性出血熱	0	0	0	0		破傷風	0	41	0	114
	炭疽	0	0	0	0		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0
	つつが虫病	0	152	0	325		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	38	2	65

### 滋賀県における全数報告 感染症の概要(6月)

#### < 腸管出血性大腸菌感染症 >

散発事例：男性1名

血清型 O157、  
毒素型 VT1(+）・VT2(+)

家族内感染事例：

男性2名、女性1名  
血清型 O26、毒素型 VT1(+)

集団発生事例：男性5名

血清型 O157、毒素型 VT2(+)

#### < レジオネラ症 > 男性・73歳

感染原因・感染経路については国内  
旅行先の宿泊施設と推定されます。

#### < アメーバ赤痢 >

男性・33歳

推定感染地域はインドで、同時にジ  
アルジア症にも感染しています。

男性・58歳

推定感染地域は日本国内ですが、  
詳細については不明です。

#### < 梅毒 > 男性・41歳で同性間性的 接触による感染です。

#### < 後天性免疫不全症候群 >

AIDS：男性・34歳で異性間性的接触  
による感染です。

無症候性キャリア：

男性・39歳、女性30歳で感染地域は  
それぞれベトナム、ブラジルです。

\*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含む、

\*2 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含む

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、基幹定点に分かれています。

### 6月の概要

#### <インフルエンザ定点>

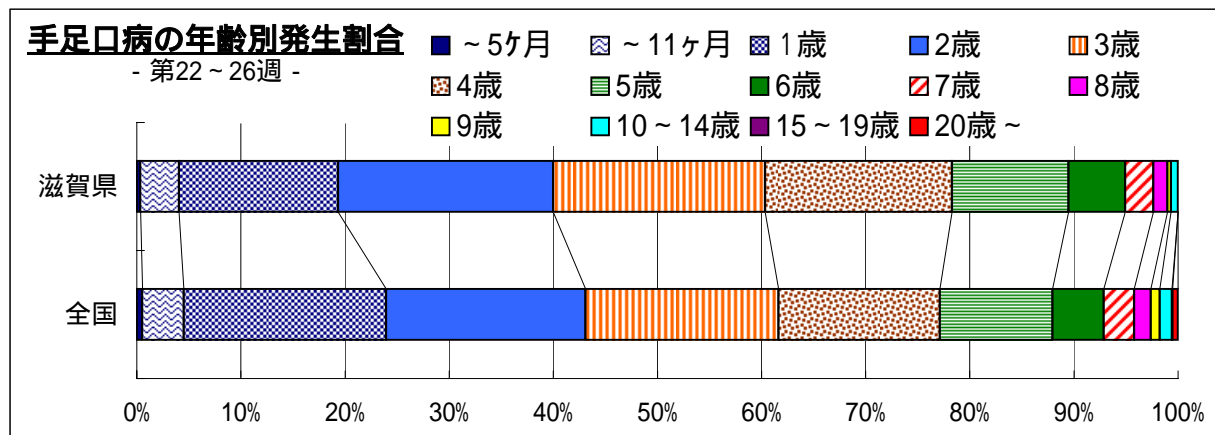
前月(第18~21週)からの微増傾向は第22週(5/29~6/4)まで持続し、それ以降は第22週の定点当たり患者数1.21より減少し第26週(6/26~7/2)は0.26となっていました。しかし、第23~24週(6/5~6/18)は高島保健所管内で非常に多くっており、第26週には東近江においてもやや多くなっていました。

#### <小児科定点疾患>

咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、手足口病および伝染性紅斑は昨年と同時期よりかなり多くなっていました。咽頭結膜熱は大津および草津で多い状態が続き、東近江においても第24週以降は増加傾向となっていました。手足口病は急増し、定点当たり患者数は昨年同時期の2~6倍増となり0.56~4.00で推移していました。特に、第22週(5/29~6/4)以降は長浜で急増していました。感染性胃腸炎、水痘およびヘルパンギーナは昨年とほぼ同様の発生状況を示しており、流行性耳下腺炎は昨年と同時期よりかなり減少していました。また、第24週には麻しんの報告が草津からありました。

#### <眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎はやや多く発生していましたが、基幹定点疾患については例年とほぼ同様の発生状況を示していました。



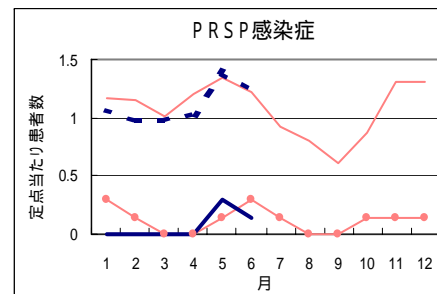
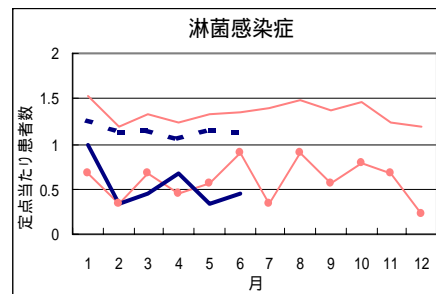
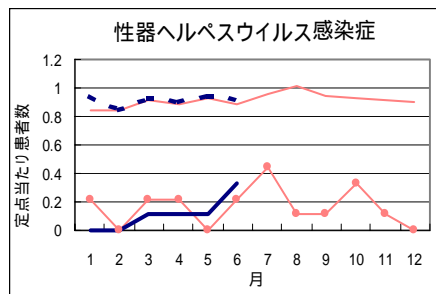
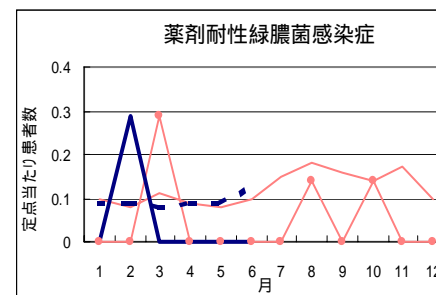
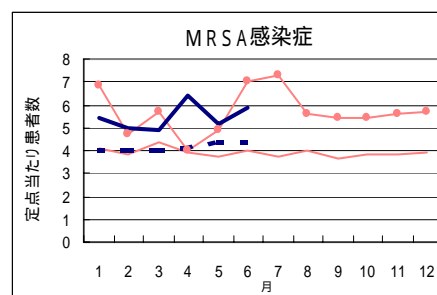
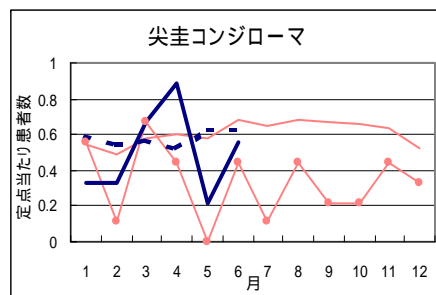
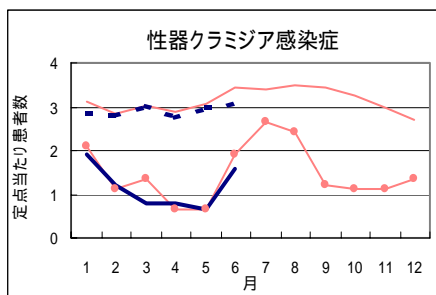
第22~26週における手足口病の年齢別発生割合について全国と比較すると、1歳では滋賀県の方がやや少なくなっていますが、2~7歳では全国とほぼ同様の発生割合となっています。

#### <各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、突発性発しん、ヘルパンギーナ、風しん(三日はしか)、麻しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、成人麻しん、クラミジア肺炎(オウム病を除く)

### 3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成18年6月)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	17	11	7	7	6	14							62
	定点当たり	1.89	1.22	0.78	0.78	0.67	1.56							1.15
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	0	0	1	1	1	3							6
	定点当たり	0	0	0.11	0.11	0.11	0.33							0.11
尖圭コンジローマ	罹患数	3	3	6	8	2	5							27
	定点当たり	0.33	0.33	0.67	0.89	0.22	0.56							0.50
淋菌感染症	罹患数	9	3	4	6	3	4							29
	定点当たり	1	0.33	0.44	0.67	0.33	0.44							0.54
MRSA感染症	罹患数	38	35	34	45	36	41							229
	定点当たり	5.43	5.00	4.86	6.43	5.14	5.86							5.45
PRSP感染症	罹患数	0	0	0	0	2	1							3
	定点当たり	0	0	0	0	0.29	0.14							0.07
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	2	0	0	0	0							2
	定点当たり	0	2.00	0	0	0	0							0.33



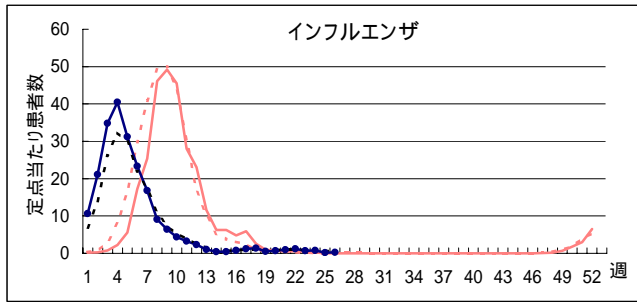
戻る

- H17 { 滋賀 ●●●●●
- { 全国 ————
- H18 { 滋賀 ●●●●●
- { 全国 .....

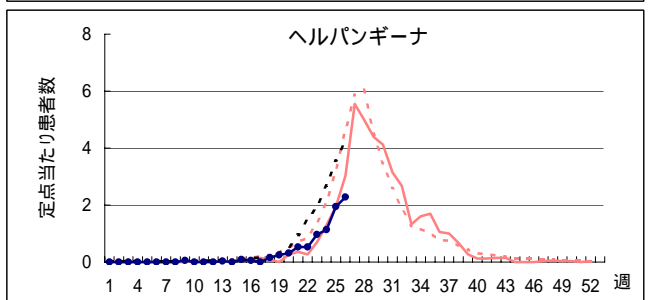
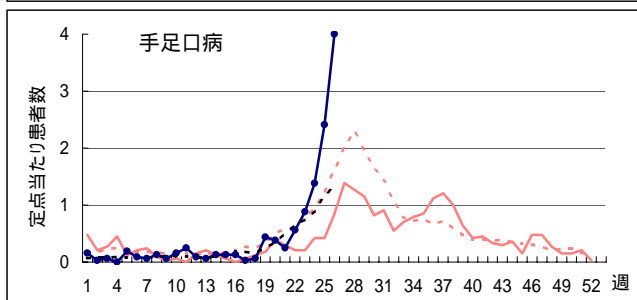
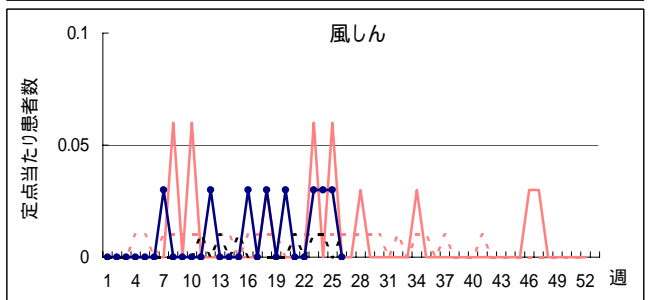
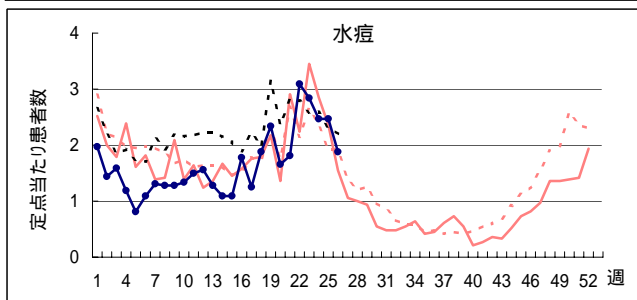
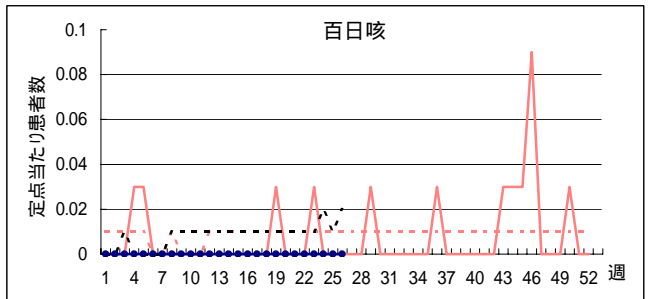
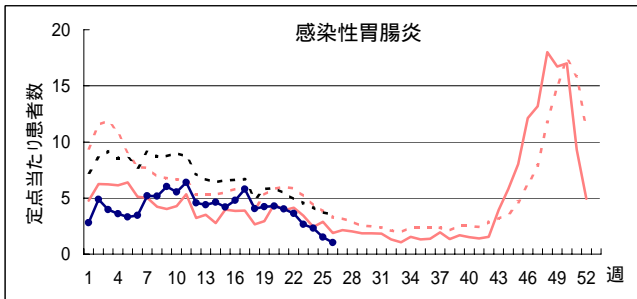
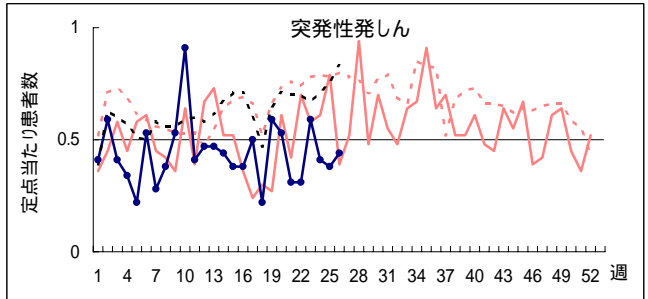
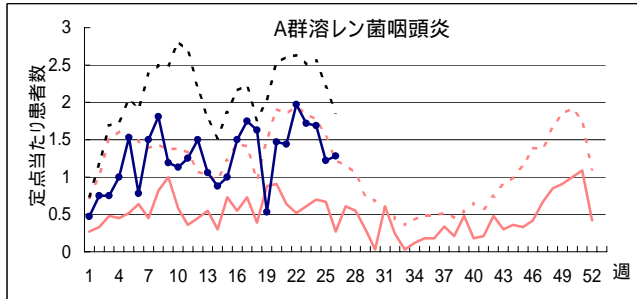
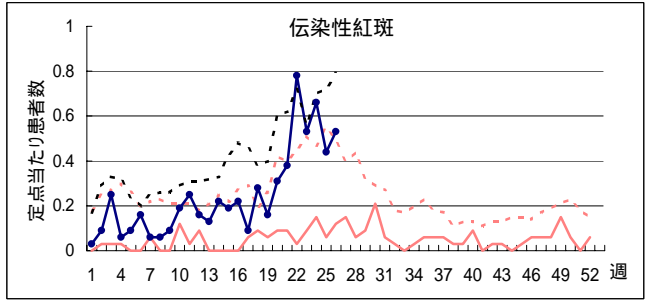
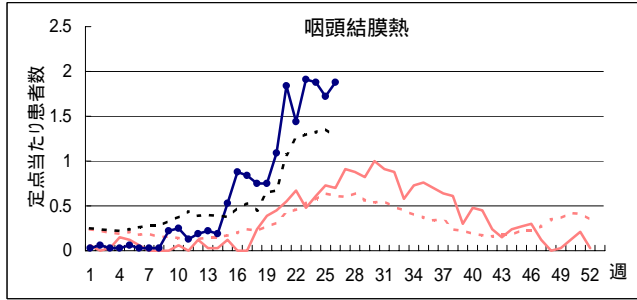
MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌  
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌



# 疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第26週、H18.1.2～H18.7.2)



H17 { 滋賀 (solid red line)  
 全国 (dotted red line)  
 H18 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
 全国 (dotted blue line with dots)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第26週、H18.1.2～H18.7.2)

H17 { 滋賀 ————  
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●  
全国 .....

